



# 薬剤耐性を知ろう！ 動画コンテスト

## 入賞者表彰式



従来の抗菌薬が効かなくなる「薬剤耐性菌（AMR）」が国際的な社会問題となっています。そこで、薬剤耐性に関する知識と理解を広めることを目的に、若い世代に向けた「薬剤耐性を知りやすく伝える動画」コンテストが開催されました。数多くの応募作から厳正な審査の結果、6作品の受賞が決定。11月17日（日）に開催された表彰式の模様をお伝えします。

### テーマ | 薬剤耐性（AMR）を知ろう

審査員  
上野 裕明氏 日本製薬工業協会 会長  
鷲見 学氏 厚生労働省 感染症対策部長  
日下 英司氏 内閣感染症危機管理統括庁 内閣審議官  
志村 優氏 GOKKO 取締役COO／統括プロデューサー  
デジタルハリウッド大学 非常勤講師  
医学監修 具 芳明氏 東京科学大学 感染症センター（TCIDEA）センター長



### 主催者挨拶

### 薬剤耐性の課題認識と理解促進を願って 上野 裕明氏

薬剤耐性（AMR）の問題に対し、私たちは、AMRIに関する情報の普及や抗菌薬の適正使用を促す啓発活動に取り組んでいます。特に毎年11月のAMR対策推進月間には、さまざまな取り組みを行っており、今年は新しい試みとして動画コンテストを開催いたしました。今回の取り組みや受賞作の有効な活用を通じて、薬剤耐性に対する理解がさらに促進されることを祈念しています。



### 中高生部門

**最優秀賞**  
**みんなの「気づき」が未来を救う**  
京都府 洛陽総合高等学校 2年  
情報メディア系列クリーンラボラトリー  
緒方 結真さん・朴 芭望留さん・小川 春輝さん・  
稲継 權人さん・島 陸斗さん



素晴らしい賞をありがとうございます。アイデア出しから完成まで掘り直したり編集したり1か月ほどかかりました。このチームで頑張ってきたので、動画を通じて多くの人に薬剤耐性を知ってもらい、少しでも問題解決につながればと思っています。



**優秀賞**  
**60秒で薬剤耐性菌を知ろう！**  
神奈川県立厚木高等学校 2年  
二角 莉央さん・高橋 幸太郎さん



栄誉ある賞をいただき、大変光栄に感じています。コンテストを通じて、学校で理解を深めてきた薬剤耐性の知識を社会に還元するということに挑戦でき、大変貴重な経験となりました。今後も精一杯努力を重ねていきます。

### 一般部門

**最優秀賞**  
**「抗生物質」を簡単に渡してはいけません**  
Miki×Julia.K  
東京都



光栄です。ちょうど動画制作の勉強をしている時に、今回の募集を知りました。薬剤耐性がこれほど大きな課題であるにもかかわらず、あまり周知されていないことに驚き、多くの方に知っていただきたいという一心で作りました。



**優秀賞**  
**一緒に行動しましょう！Change**  
ハリム・ディオナリエスさん  
東京都



大変うれしく思っています。これを機に今後も動画制作を頑張りたいです。薬剤耐性について調べたことは有意義で、自分も気を付けようと思いました。多くの人に動画を通じて薬剤耐性菌の危険性が伝わるといいなと思っています。

### 中高生部門総評 課題解決のためにみんなで行動を 鷲見 学氏

クオリティの高い作品ばかりで選出に苦労しました。最優秀作品は、紙芝居形式でストーリー性があり、AMRの重要性がわかりやすい言葉で語られ、とても良かったです。コアラをキャラクターにした優秀作品は、親しみやすい中にもしっかりとメッセージが伝わってくる作品でした。課題解決のために努力された若い皆さんに感謝します。



### 一般部門総評 皆さんの動画の活用で幅広く知る機会に 日下英司氏

薬剤耐性は非常に難しい課題なのですが、いずれの作品もわかりやすい内容で、大変感銘を受けました。甲乙つけがたい作品の中、特に心に訴えかけてくるものを受賞作として選びました。薬剤耐性について深く学ばれた皆さんの動画作品がいろいろな場所で活用され、多くの方々に知っていた中、特に心に訴えかけてくるものを受賞作として選びました。薬剤耐性について深く学ばれた皆さんの動画作品がいろいろな場所で活用され、多くの方々に知っていた中、特に心に訴えかけてくるものを受賞作として選びました。



### 日本製薬工業協会賞

**中高生部門**  
**この動画を見れば薬剤耐性菌について簡単に学べる！**  
東京都 香蘭女学校 2年  
西岡 優さん



とてもうれしいです。学校で動画制作の授業が毎週あり、今回は夏休みの宿題として応募しました。ニュースで薬剤耐性菌の問題を扱っていることは知っていましたが、詳しいことは動画を作りながら学びました。



**一般部門**  
**知ってほしい薬剤耐性菌**  
松本 華蓮さん・松本 芹夏さん  
神奈川県



大学で薬学を勉強している私（芹夏）とカメラが趣味の妹（華蓮）で制作しました。身近にいる妹ですら薬剤耐性菌のことを知らなかったのが、多くの人が当たり前のように知る問題として、今後認知が広がっていくことを願っています。



### 薬剤耐性（AMR）について考えよう

#### 薬剤耐性とは何か なぜ社会問題となっているのか

薬剤耐性（Antimicrobial Resistance＝AMR）とは、細菌感染症の治療で使う抗菌薬（抗生物質）が効かなくなることです。そのような薬剤耐性を持った菌を薬剤耐性菌といい、現在、世界中で増加しているために国際的な社会問題となっています。2019年には世界で薬剤耐性菌による死亡者数が約127万人におよび、その数はHIV／AIDSの約86万人やマラリアの約64万人を上回りました。※1このまま何も対策をせずに放置すると、2050年には世界で死亡者数が1000万人にのぼり、がんによる死亡者数を超えると想定されています。※2

※1 Lancet 2022; 399: 629-55 Published Online January 20, 2022  
https://doi.org/10.1016/S0140-6736(21)02724-0  
※2 Jim O'Neill, "The Review on Antimicrobial Resistance. Tackling Drug-Resistant Infections Globally: Final Report and Recommendations.," May 2016

#### 薬剤耐性菌はなぜ発生するのか 広がると、どうなるのか

薬剤耐性菌の原因は、抗菌薬の不適切な使用です。抗菌薬は、細菌が原因の感染症に有効な薬ですが、風邪や新型コロナウイルス感染症、インフルエンザといったウイルスによる感染症など必要ではない時に抗菌薬を服用すると、体内の菌が耐性を持つ可能性があります。また、医師から処方された抗菌薬を飲み切らず、自己判断で中断すると、体内に残った細菌が変



異し、耐性菌が出現するリスクが高まります。耐性菌が増えると、適切に治療すれば軽症で回復できた感染症も、抗菌薬が効かないために治療が難しくなって重症化しやすくなるほか、さまざまな病気やケガの手術なども行えなくなってしまうです。

#### 薬剤耐性菌を広めないために 私たちができること

各製薬企業も新しい抗菌薬の研究開発に取り組んでいます。開発には長い時間がかかり、容易ではありません。そのため、薬剤耐性の拡大を防ぐには、私たち一人ひとりがそのリスクを減らしていくことが重要です。抗菌薬を使用する際には、医療機関で処方された用法や用量をしっかりと守りましょう。そして自己判断で抗菌薬を服用したり、人に渡したり、もったりしないことです。また、耐性菌による感染症を広げないよう、日ごろから健康的な生活を送り、手洗いやマスクの着用など感染予防に努めることも大切です。まずは抗菌薬について正しく理解し、薬剤耐性を広げないようにしましょう。

受賞作品は右記の二次元コードよりご覧いただけます。》》

<https://yab.yomiuri.co.jp/adv/amr-contest/>

